

いっぽん!

平成18年 第4号

■発行 伊藤ふみひろ後援会広報委員会 ■発行責任者 伊藤文博 ■連絡先 TEL.025-562-3988
■公式ホームページ URL <http://www.fumihiro-ito.com> ■E-mail f-ito@fumihiro-ito.com



9月定例会

9月定例会が始まりました。31議案1諮問4報告1陳情請願が審議されます。

初日を終わっての

主なニュース

①後期高齢者医療制度について

2006年の通常国会に提出された医療制度改革関連法案に盛り込まれ、2008年度から新たな独立型の健康保険としてスタートする75歳以上の「後期高齢者」全員が加入する公的医療保険制度です。

保険料は原則として加入者全員から徴収する。保険料徴収は市町村が行い、財政運営は全市町村が加入する都道府県単位の広域連合が担当する仕組み。財政は、

- ▽本人保険料1割
 - ▽税金約5割
 - ▽74歳以下が加入する各健康保険からの支援金約4割
- の比率で負担

去る8月21日に県内全市町村の関係者が集まって、広域連合の設立準備委員会が開催されました。

②一般家庭の廃食用油の回収について

糸魚川市では、十月一日から各家庭で不要になった食用油（植物油性）を回収し、バイオディーゼルフューエル（軽油代替燃料）に再生して使用できるようにします。市内6箇所のスーパーマーケットでペットボトルに入れた食用油を回収いたします。

③帝国石油株式会社の天然ガスパイプライン増強計画について

「新青海ライン」L1149km
2006年調査設計
2007年着工
2009年完成予定

上越市～糸魚川市能生横39km
糸魚川市南押上～田海10km
といった内容で現44万立米の供給力を76万立米にアップする工事です。当初心配された国道8号線の渋滞については、対象区間は現配管を使うため工事を行わないそうです。

④産婦人科病棟環境改善事業（糸魚川総合病院）

6月議会はじめに発行した本会報に掲載したとおり、来以降の産婦人科医の確保には、富山大学（旧富山医科薬科大）からの二つの条件がつけました。

- i 糸魚川市独自で産婦人科医を一名確保すること。
- ii 200件以上の分娩件数を確保すること。

糸魚川病院での妊婦さんが安全、安心、快適に出産できる環境を整え分娩数を増やす施策と医師・看護師の勤務環境の改善の一貫として、外来のプライバシー配慮や分娩室などのレイアウトを機能的に変更する工事を行うための補助金（1/2）が、補正予算に四千万円計上されています。

一般質問

今定例会では次の一般質問を予定しています。9月11日（月）午後の予定です。

1. 行政改革の確実な推進について

- ① 全般的に、「実施計画」といいたながら「手順」に相当する記述が見えないが、各改革項目について手順は定められているか。そして、各項目毎の進捗よく状況把握は出来ているか。
- ② 「市民参加」の促進は重要なポイントだが、その気運を高めるための具体的方策は手順を含めて明らかにしているか。
- ③ 「継続的改善」手順の確立についてどう考えているか。
- ④ 3年間の計画である「行政改革実施計画」の「中・長期的な見通しに立った健全な財政運営」が「新市建設計画の財政計画による」となっているが、その考え方は。

質問の趣旨

行政改革の計画は、「行政改革大綱・推進計画」「行政改革実施計画」（3年間）という構成で、「実施計画」は毎年見直しを行います。現在の実施計画では5W1Hの具体的手順が盛り込まれていないため、実行も見直しも確実には出来にくいと考えられます。

確実に実行するには、計画の中のそれぞれの実行項目について、5W1Hといった具体的要素を捉えることにより、**計画立案（手順の確立）を、モレなくダブリなく**行なうことができません。

行政にとつて、この計画を定めること自体が大きな仕事になっています。計画策定後、確実に計画を実行しながら、状況・環境の変化や進行状況に対応して検証し改善策を講じていくことが求められます。市長と当局のやる気を問います。



伊藤 武 作

2. 学校教育の地域間競争及び中学校各種競技大会について

学校教育の次の点について伺う。
①教育の地域間競争について

直江津に中等教育学校が開設された場合の、当市の教育環境との格差と、その社会的影響についてどう考えるか。

②中学校の各種競技合同大会について

合併により上越市が大きい枠になったことと「一つの市を分割して大会を実施できない」という県の規制により郡市大会の枠が成り立たなくなり、各競技とも「合同大会」という無理な形で大会を実施している。糸魚川市教育委員会としての考えと県関係部局との協議はどうなっているか。

質問の趣旨

直江津に中・高一貫教育校が出来ます。教育環境の変化、とりわけ上越地域との格差が糸魚川市に及ぼす影響という視点で市長の考え方を問いかけます。

また、上越市が大きくなったことで中学生の郡市大会のあり方に大きな影響が出ています。市の考え方と県との協議状況について問いかけます。

3. バリアフリー及びユニバーサルデザインの推進について

「バリアフリー」の考え方から「ユニバーサルデザイン」へと進化し広く定着しているが、糸魚川市における考え方を伺います。

①施設、製品、情報の設計や各種設定においての「ユニバーサルデザイン」の考え方について、糸魚川市の考えと取り組みは。

②民間への啓蒙活動は。

③市内施設（官民共）においての、バリアフリー状況の把握と今後の方針は。

④民間施設のバリアフリー化への支援策は。

質問の趣旨

「ユニバーサルデザイン」とはバリアフリー概念の発展形であり、「文化・言語の違い、老若男女といった差違、障害・能力の如何を問わずに利用することが出来る施設・製品・情報の設計（デザイン）」をいいます。

ユニバーサルデザイン化へは国民各層の強い意志と地道な努力が大切だと言われています。どう市民に啓蒙しコミュニケーションづくりをするのか。

介護施設に入所している家族を車イスで外食に連れて行きたくても、可能な場所が1、2店舗しかないといわれます。

バリアフリーを推進するためには何らかのてこ入れが必要であると思われませんが、市長の考え方を問います。

編集後記

8月20日に糸魚川市民総合体育館において新潟県スポーツ少年団交流大会剣道競技会が行われました。青海剣道クラブの子ども達が小学生4年生以下の団体（五人制）で見事優勝しました。予選リーグから決勝まで1名も負けなしという圧勝でした。指導者・保護者の熱意と、子ども達の頑張りには感謝感謝です。

健康づくり

このところ、自宅の道場直心館の朝稽古が復活しています。週末はかなり充実した内容で継続してきましたが、平日の朝稽古は数年間お休み状態でした。しかし、仲間は有り難いもので、ここに来て毎朝稽古に現れる者が出てきました。W君が転勤で戻ってきてくれて、この夏から朝稽古復活です。毎朝30分素振りで汗を流しています。体の調子も良くなってきたようです。健康づくりは糸魚川市にとつても大きなテーマです。

F・I

